



調所教授方譯目

特別  
12  
5250



志林底稿目

調所 葦 投 方 深 目 十 九

12  
5250

志林  
 三十四年  
 首卷  
 五十五年  
 三有リ  
 七年

月刊志林

己年之部

卷

箕作  
 無人鳴略記  
 千八百四十五年

同  
 同附録

同  
 大地マノ子々スミエ説  
 千八百五十二年

高田  
 羅羅國連体雙入  
 千八百四十五年  
 四十葉

九枚一行  
 百七十九行

一枚一行  
 二十五行

十八枚  
 十二枚六行  
 二百五十九行

四枚半一行  
 九十三行



方名二  
 三年  
 五年  
 七年  
 首卷  
 有少

月刊志林

巳年之部

一卷

無人鳴略記  
 千八百四十五年  
 十一行廿字  
 十二枚

全

同  
同附録

十一行廿字  
 二枚

全

大地マノ子チスミエ説  
 千八百五十二年  
 十八枚  
 十二枚六行  
 十三音五十九行

十一行廿字  
 二枚半

全

高昌  
 羅羅國連体雙入  
 千八百四十二年  
 四十葉  
 七枚

十一行廿字  
 二枚半



卷一

杉成

法瑯と製する法

古昔を思ふ船

支那の各港寫 千八百四十三年 百三十三葉

五枚四行  
二枚半七行  
一枚半九行  
六十九行

卷五

同

雷氣磁石氣合併力及動用の用い説 千八百四十二年

三枚半八行  
七十八行

津田有

植播機マストリグセル

千八百四十九年 百五葉

一枚半二行  
三十三行  
一枚一行  
二十一行

昆蟲氣囊の形及其用

千八百四十九年 二十葉

正片之部

圖入

算

千八百四十四年英吉利佛蘭西與俄羅斯水戰記

九枚四行  
百八十四行

千八百四十四年

觀軍事記

十八枚半  
百七十一行

千八百四十四年英吉利佛蘭西與俄羅斯的海軍事記

三十枚半二行  
六百十一行

二月之部

圖入

同

不魚提拉 今の比利時國用 大會社華島并

十枚半九行  
百三十九行

杉成

オウルテ河畔の古城

三枚四行  
百四十四行

同

俄羅斯國民の行状及び風俗

不完

十枚半六行  
百三十六行

三月之部

一 箕 不列顛渾及拾里彌爾將帥「ロドラン」ロドラン「ロドラン」三人の傳千八百五十五年 六葉 七葉迄 六枚九行

二卷

一 高 是班牙國にある英吉利の城塞義人塔の記 二百九十八葉より 三百二葉迄 十枚半九行

一 坪有 始く髪と剃る事 千八百五十五年 八十四葉 一枚九行

一 同 同 フラシリ「國中」イタマシ「の瀑布」 八十四葉より 八十六葉迄 二枚七行

一 同有 肺藏及び胸腔と膨脹とる事 九十六葉 半枚七行

一 同有 年代の十の數 八十八 七行

一 同有 「マリス」の「ヒエイ」府 八十九 二十四行

一 津有 「セント」府の街宇 百十三葉より 百十四葉迄 二枚二行

一 同有 和蘭國の原野に生る毒草木の二 千八百五十五年 百十三葉より 十四葉迄 二枚二行

一 川有 酒類總論及び「シヤム」子「酒の説」 三十三葉より 三十八葉迄 半枚七行

一 南「アメリカ」に客遊する記行 百三十三葉より 百三十七葉迄 半枚七行

二卷

山内

黒海

原語「スワルトセー」改羅色と「臣細」との間にあり

百七より百九迄

七枚四行

四月之部

坪

勿搦祭並に一日遊覧せし事 九十一

九十三迄

八枚半八行

同有

古代の牙醫

七枚半行

同

船中に起つる恐るへの一揆の騒乱

九十四より九十五迄

八枚半行

三

津

千八百五十四年學士ホーゲル中亞弗里加旅行の記

百十四より百十六迄

八枚半行

山内

茶の栽植方并製法用法 九十より九十三迄

九枚半六行

圖入

西

「ヒンチリ」の一府の郷字

千八百五十五年十月

八枚半三行

同

同

「カルクッタ」 六百五十

七枚一行

同

合統王國

英吉利愛倫の總名

及し合衆國 五百辛

九枚半四行

五月之部

水戸

婦人「イグニツ」地球を周遊するの記

七枚半九行

卷五

一

動物學校の庭園曲リイフアルドシ類の千八百五十五年

七散半行

「イエンニゴルドシキミヅリ」人傳名百三十八迄

八散半行

水宗

英吉利「アリス」アルケシの傳及「ウルセス」地其廟堂記千八百五十五年版百四十五乃至百五十六迄

三散半行

同

卷四

一

北亞米利加合衆國の禮儀及「風習」百四十七乃至百五十七迄

十散半行

同

一

「モスコウ及「シントポルト」ト」の圖新聞千八百五十八年九月六日二百五十一

六散半行

同

六月之部

卷

一

富々斯海中俄羅斯船只

七散半行

一

佛羅斯防禦策略一千八百五十四年佛英三國兵士合の役の時俄羅斯の守備の策ハットバインズ

一散半行

一

「バルトルド」スウアルツシ切徳碑

大樂波明人

一

都兒格帝「アブナエルメヂ」帝の千八百五十五年三十九甲迄

七散半行

一

魚目西亞國邦キ利末牙ハと領とる說二百九十九乃至二百九十一

十七散半行

一

蜘蛛子及「蜘蛛網」の現著クる奇特の千八百五十九年九十五

七散半行

一

募兵負類

八散半行



坪井

一 仕損しるる大野の事 九十六

一 同 金地キリム名に於ける「ブリッ」軍卒及其將帥小傳 八十六ヨリ  
八十八迄

杉玄

一 石版「スラインドリユック」 千八百二十四年刊行  
紐氏韻府抄譯

一 同 石版術發明 千八百四十八年  
百四十七ヨリ百四十九迄

一 競驢馬 百七十七ヨリ  
百七十八迄

一 西 魚目西典の兵制兵力 新聞  
千八百五十五年十一月八日  
六百七十八ヨリ六百七十九迄

二枚半行

廿三枚半行

六枚行

五枚半行

二枚半行

八枚行

卷五

圖入

二卷

圖入

一 同 伊斯把尼西に之の土寇「トリードル」 新聞  
千八百五十六年八月一日  
百九葉

廿一枚半行

一 山 和北關に生る有毒の草木 千八百五十五年  
百十ヨリ百十二迄

七枚半行

一 本宗 河馬 原名「ヒツホホメ」又「チル」 同  
千八百五十七年  
百五十一

三枚半行

一 川 如德亞諸王之墓處在予玉砂巴多 同  
千八百五十二年

六枚行

七月之部

一 水車 晴雨預知 千八百四十四年

四枚半行

山六

「セルピー」地名の民話

千八百  
百三十一葉

六枚八行

木宗

「ズウキツチエラランド」の草子、牧人及山屋

千八百五十五年  
百三十一葉

十四枚四行  
二百八十四行

山六

「リカルド、アルクウリクト」人の發明せる紡機器

同千八十六年  
百十葉

四枚  
八十行

卷四

「把理斯地下」の説

千八百  
八十二葉

十枚半六行  
二百十六行

津真

「地皮成形論」

「ブクデルナツエウル」  
千八百五十二年版抄譯

十枚九行

兼作

「吉里弥阿風聲」

「ットフアイニドル」  
千八百五十五年印刷本

十三枚半  
二百七十行

八月之部

木軍

「晴雨預地」

卷二  
千八百四十四年  
二百甲三葉

五枚半  
百十二行

山六

「聖、エル、ユス火の説」

「遜母兒窮理書」第四卷  
千八百三十一年  
百三十一葉

三枚半九行  
七十九行

同

「光を發する氣中景象中虹霓」

三百二十九葉  
三百甲四葉

四枚一行  
八十一行

木宗

「パーテルスビユルグ」の魯西亞の帝都

「帝カサールの廟所」

千八百五十年  
百六十葉

三枚半  
七十七行

「小兒を術を以て教育する事」

百六葉

同入

杉玄 石版の搾器

一千八百四十八年  
自第三百七葉至三百九十八葉

二枚  
十行

同有

ハートホーヘン

一千八百  
自百七十八葉至百七十九葉

四枚半  
七行

三卷  
同入

同 マサニイルロ

一千八百  
百七十九葉より百三十二葉ニ至る

九枚半  
十行

同卷四

津真 北光

公定ニブルウクナツウルクニデ附録  
メテオロギイ抄譯

六枚  
九行

同

箕元 駕氣船説

一千八百辛丑年  
第三葉より第六葉ニ至ル

九枚  
十行

同

川幸 佛蘭西の都府巴理斯小在る古王城及い其聚繪殿

一千八百  
第甲二葉より甲六葉ニ至ル

十三枚  
十行

同

カンテン 鐵を以て織ひ且 綵の製造

半枚

同 絹衣とロルト 英吉利のホーケンアーデル 娘とクワールケル

一千八百  
自第百二葉至四百  
十葉ニ至ル

九枚  
十二行

高五 短視及い其眼鏡を撰用する説

四枚半  
七行

九月之部

同入

箕元 ラツテルスラング 蝮蛇類の至く毒ある者

一千八百辛丑年  
自初七葉至八葉

五枚  
八行

同

同 獨逸画エイ、ペハスセンクレウ正小傳

第八葉

不軍 晴雨預知

一千八百四十四年  
二百九十四五葉

四枚  
五行

津真

一 火丸 ヒユルニオケル 氣石 ルユトステエ

天鐵 オノルイセル

一千八百五十五年  
三百九十六葉至

十六枚半八行  
三百三十八行

木宗

一 琥珀の知るへき非常なる事

一千八百五十五年  
自百三十八葉至百三十九葉

七枚  
百四十一行

一同

一 鉛銅及び亜鉛管を用ゆるの害

第三百二十六葉

半枚一行  
十一行

十月之部

川幸

一 雪際亜及び諾爾湯實亜の熊獵

一千八百五十五年  
自百九葉至百十一葉

十枚半九行  
百十九行

高五

一 阿片の説

一千八百四十九年  
自百四葉至百七葉

十一枚半八行  
百三十八行

一西

一 鄂羅期國化殖經理の事體

一千八百五十四年  
三百二十六葉

三枚三行  
六十三行

一同

一 蘭頓缺事

一千八百五十四年  
二百六十三葉

六枚四行  
百二十四行

一 六  
ソムル虹霓の論次

九枚十一行

箕元 眼目結構総説

一千八百五十五年  
第百十葉至百十五葉

十枚半一行  
百十二行

木軍 晴雨預知巻四

一千八百四十四年  
三百一葉

三枚四行  
十四行

一同 廣蘭晴雨儀 全

一千八百四十九年  
二百九十六葉

二枚二行  
四十二行

木宗有 フラシケンハイムの導音子

一千八百三十五年  
百三十二葉 圖一有り

一枚半  
三十三行

一同 エスバルテロ

百三十五葉

三枚一行  
六十二行

圖入 一同 爪哇人船中やく大なる海獸を追はせたる事

三百六十八葉 圖一有り

一枚半二行  
三十二行

十一月之部

圖入 箕作 阿斐里加里夷及其西煙陣彼方の生産

一千八百五十五年  
十二葉 有圖

三枚六行  
六十六行

一同 象 妬

十五葉

一枚半三行  
三十三行

一同 阿里敏禮俗

五枚三行  
百三十三行

圖入 高島 火燄菜糖の説

一千八百四十二年  
自八十二葉至八十四葉

七枚半五行  
百五十九行

重刊 市川ガリレイの傳

エウキネイ又南府巻二

自百十五葉至百十七葉

三枚半七行  
七十四行

坪井 一 氣球

輕氣球

風船

氣船

一千八百三十四年  
五十一葉

三枚半六行  
七十六行

同 一 氣球

一千八百三十五年  
自百六十三葉至百六十六葉

十枚半四行

同 有

シカツトカームル

目錄

二十

九枚十四行

杉玄 一 都兒格人の劇場

一千八百五十五年  
自百八十二葉至百八十四葉

十枚半四行

津真 一 エエテル論

呼てエエテルト云

五枚半七行  
百十七行

同 一 電氣鮮 エエファール  
并二烟陣人のことを捕る記

一枚半四行  
三十四行

圖入

一 西 電バストポル

一千八百五十四年  
三百三十葉

有圖

二枚七行  
四十七行

同 一 日 ウルグナイス氏の新製架橋

一千八百五十三年  
二百十六葉

一枚半  
三十三行

一 丙 大氣總論

孫母兒窮理書卷四

一千八百三十一年  
自一葉至十四葉

十枚五行  
二百九行

一 木宗 伊斯波仁亜の女王

一千八百五十五年  
百四十四葉

同 一 亞采利加の洞穴

ソニムル地球篇

一千八百四十八年  
百三十五葉

三枚半九行  
七十九行

一 猪俣 活字鑄造の事

五枚半八行  
百十八行

川本

一 百徳児私蒲児屈邊の獵

一千八百五十五年刊  
自二百三葉至三百三葉

十二枚半  
二百五十一行

二

一 人は圖畫を學へは何程好き

一千八百五十五年  
二百十六葉

一枚半  
三十一行

十二月の部

卷四

眞

百像政

一 ベンヤミンフランクリン

一千八百五十五年刊  
自二百五葉至三百六葉

四枚二行  
八十二行

卷三

一 加勒海土人記

全上三百五十六葉

一枚七行  
二十七行

一 亞墨利加洲内義羅斯統轄り地方

同 五十五葉

二枚半九行  
五十九行

市川

一 鍍金法

一千八百五十五年刊  
自七十七葉至七十九葉

六枚半  
百三十五行

目入

一 マ子ウドテの秘報

一千八百五十五年刊  
自百十四葉至百十七葉

十枚二行  
百二行

木京

一 物体其廣長厚及以形状

ハンデルビエルグ

二枚四行  
百四行

日

一 作の普通性、碍性、派気鏡

同上

一枚半一行  
百十一行

由

一 皇帝尼格羅斯及羅馬最父の傳

木草

一 雷電説

附

誘電子論

ハンデルのヒュグ著  
六百五葉至六百五葉

十六枚半六行  
百三十六行

卷一 箕

卷五 市

佛蘭西マルシカスアルミトヤクケスレロイ、テサイシトマル  
ナウト小傳 オミテイド卷四三百七葉

トマス、ロベルト、ビエグア、ウト、テラ、ビコ、チリイ、  
傳 オシセ、テイド、千八百四十九年刊  
二百十七至二十六

八枚半五行  
四百七十七行

ヘルドマアルシカル久カラマスラテツキの傳

千八百四十九年刷  
オシセ、テイド

三枚半五行  
四百七十七行

西 圖入

一 哥羅米ル向ふ出師

千八百三十九年九月二十三日刊  
第百二十七

二枚四行

卷四 津

一 普魯社太子フレデリキ、ウケルレム、ロテウ、エイ、  
皇帝尼格羅斯及ヒ羅馬最父

千八百三十二年オシセ、テイド  
二百九至二百六十二

十枚七行

圖入 山

一 イサアク、ニウトンの傳

千八百三十九年  
百二十七葉

四枚五行  
八十九行

木宗

一 メヘメ、ダ、アリ

千八百三十九年  
百七十八葉

五枚半  
百十行

一 都兒格マフミ、ト、速魯壇傳

千八百三十九年  
百七十八葉

六枚五行  
百二十九行

一 方今北亞墨利加合衆國の大統領と為れるゼ子、ラール、フランクリン  
ヒールシの傳

千八百五十五年オシセ  
テイド、第百三十五至  
至六十三葉

六枚四行  
五十七行

一 魯西五國の使節ラルロフ侯

千八百五十四年英國新聞紙  
二百二十二葉

二枚三行  
四十三行

圖入 手

一 佛蘭西のレート、アドミレル、ブロート氏

千八百五十五年 新聞紙  
七百二葉

一枚四行  
二十四行



一 年  
ワリアルダより来る別種の窩々斯甸列機人

千八百五十五年新聞紙  
六百二十一葉  
八枚四行  
十四行

一 年  
撒丁の使節ド、アセグリヲと尊称せる將校ヨノヒチ氏  
其佩劔と敵兵と與へし事

千八百  
三枚半四行  
七十四行

一 高  
太爾馬祭典侯マアルスカルク、ソウルトの傳

三十枚半九行  
百二十九行

一 坪  
エウグ子 ヒルノエフ傳

千八百五十四年オインセタイト第十二卷  
自二百三至二百八葉

十枚半三行

一 水軍  
佛蘭西のマールスカルク、マウセエチン子、ゲラルド傳

未  
正月之部

一 川  
瓜吹島の布及獵虎の説

千八百五十五年刷荷蘭強画  
第五十九葉

十一枚六行  
二百二十六行

二月之部

一 其  
是班呀驛傳に乗じて旅行する小紀

千八百五十五年  
三百二十一葉

一枚半七行  
三十七行

一 其  
蘭嶼の近地シデンハムの玻璃殿の一

千八百五十五年  
三百二十一葉

二十二枚三行  
四百四十三行

一 高  
名譽矮人の傳

千八百四十四年  
自第三至六葉

十枚半六行  
百十六行

一 市  
佛蘭西の使臣を大砲で装填して射殺せし説

千八百四十五年  
自第十至十二葉

九枚三行  
百八十二行

木軍

一 **シリア**の首府アンタキヤ時をアンチオキヤと名けし地の記

千八百四十九年  
二百一十二葉

坪井

一 セーランドの學師及び不運なる婚儀

千八百五十五年  
二百三十五葉

五枚四行  
百十四行

木宗

一 **の千首卒** 二巻 二頁

一 英吉利領東印度の草綿植養及び茶園

千八百五十五年  
二百五十二葉

四枚二行  
八十八行

杉玄有

一 彫像匠プラチールの傳

千八百五十五年  
自言九至六十一葉

六枚五行  
百二十七行

同

一 魯西亞國のゼレルロシル氏の事を紀す

千八百五十四年  
百二十八葉

三枚二行  
六十二行

同

一 都爾格砲隊

千八百五十四年  
第三十七葉

一枚半四行  
三十四行

手

一 把理斯エンド峯嶺と稱する蒸氣船

千八百五十四年  
百二十一葉

半六行  
十六行

三月之部

入圖

一 獅獵(ヤモエス、アラゴ世界を巡旅する中、盲者を懐ふ)

千八百五十五年  
自三百六至十葉

十五枚半八行  
三百十八行

坪

一 ヤゴバ・フン・ヘイレシ之傳

千八百三十六年  
百九十一二葉

七枚半六行  
百廿七行

木宗

一 ニアカラ河に架せる橋の製造位置

千八百五十年  
百五十九六十葉

二枚七行  
四十七行

入圖 卷五 猪

一 和蘭領オステンデの開基及び鍛冶榮

千八百五十五年  
二百五十七葉

二枚三行  
四十三行

山 淺同譯

一 北亞米利加の客遊せる紀行の續

千八百五十五年  
自百三十一至三十五葉

九枚半二行

市

一 英人ヒンヤウブの戦争

千八百五十年  
第百三十七葉

木軍

一 亞非里加人種アバブテ及びヒビエハリの記

千八百四十九年  
自十九至二十二葉

四月之部

算作

一 南亞墨利加紀行抄録 波里瓦爾略傳

千八百四十一年  
自百八十五至八十八葉

八枚半二行

入圖 一 瓜哇嶋

千八百四十四年  
第百三十五葉

川 獅獵

千八百四十四年  
第百六十五葉

五枚四行

入圖 一 杉 オルレアススのヘルトギンセ理斯のガラーフヘレナの傳

千八百四十七年  
第百六十五葉

四枚

一 杉 サキソニア 沙瓊尼亞王フレデリッキ、アウグストの傳

千八百四十七年  
第百六十五葉

三枚四行

入圖 一 市 有 北光

千八百五十年  
百三十五葉

五枚六行

一 坪 有 アレキサンデル・ホン・ヒムボルト傳

千八百三十六年  
第百三十四葉

三枚半七行

一 坪 かりレネガリレイの傳

千八百三十六年  
第百三十八葉

四枚半九行

山 一 李漏主王フレデリックウヰルレム第四世の傳 千八百四十六年 第九十七八九葉

木宗 一 夢 魘 千八百四十年 自第七至三十一葉

入圖 一 彈力論 千八百四十年 第三十六七葉

高 一 英倫の公會 パルレ 爵房の記 千八百五十五年 第九十三四五葉

圖 一 ベンヤン、フランクリン小傳 千八百五十五年 第九十三四五葉

木軍 一 俄羅斯國民の行狀及び風俗の次篇

五月之部

川有 一 方今所用の蒲萄説 千八百五十五年 自百九至十一葉

奥 一 貴人ラウベル 千八百四十四年 七十九葉

杉 一 峨羅斯尼哥勞帝の小傳 千八百四十六年 自八十九至九十一葉

市 一 英人本若の戦争次篇 千八百五十年 百十三葉

木宗 一 テームス河下地道 千八百三十四年 五十七八葉

四枚三行 八十三行

五枚半 百十行

三枚八行 六十八行

八枚二行 百二十二行

五枚六行 百六行

四枚八行 八十八行

七枚三行 百四十三行

三枚四行 六十四行

六枚半一行 百三十一行

五枚半一行 百十一行

○一 一ノスノ河ノ下坊道

五十一ノ坊道  
十八百三十四年

七十四十一行  
五坊道一ノ行

○一 英人林若の殿年女抄

百十三坊道  
十八百三十五年

○一 船羅博反母語帝の小抄

百六十五坊道  
十八百四十六年

八十四十一行  
五坊道一ノ行

○一 貴人ニカクシ

百七十五坊道  
十八百四十四年

八十四十一行  
五坊道一ノ行

○一 今世田の藏書抄

百七十五坊道  
十八百五十五年

八十四十一行  
五坊道一ノ行

五月六日

松木

一 亞米利加究物家オニエームス・オー・登ボンの傳

千八百五十三年  
百八十五葉  
八枚半行

西有

一 ニコラス帝傳

千八百五十三年九月三日刷  
新聞紙 百二十葉

五枚半七行  
百十七行

山

一 埃及の故物

千八百四十一年刷  
二百十三四葉

三枚八行

○

一 婦女に用ふる聴器

千八百四十八年  
百五十六七葉

二枚半十一行

六月之部

一 川 木流焔の製方及び諸用法

千八百五十年  
百七十八九葉

六枚半三行  
百三十三行

川有

一 木炭及び其製法

千八百五十年  
百四十五六葉

三枚三行

杉

一 ハインの帝ハウスチン第一世ウウロウキ

千八百五十一年 オンセテライド白  
百二至七葉

十四枚  
二百八行

木軍

一 造貨論

千八百三十九年  
自七十五至七十九葉

十二枚三行  
二百四行

木宗

一 カナウフル王 エンスト・アウキストの傳

十七枚九行  
三百四十九行

高

一 彼得三世帝と私稱せし數人の小傳

千八百五十一年  
百十三四五葉

十枚半九行  
百十九行

塩

一 我羅斯國に於て兵士を蕃殖する事

千八百四十一年  
百七十四五葉

八枚半  
百十行

塩有

一 北亞墨利加國話聖東府内の城砦

千八百〇一年  
自百七十九至八十一葉

二枚七行  
四十七行

○ 一 松  
ホルストメツテルニア傳

千八百四十五年  
二百八十六葉

八枚半三行  
百七十三行

○ 一 山  
輕氣船

千八百五十六年  
九十七八九葉

八枚九行  
八十九行

七月之部

○ 一 齒牙の腐壞即チ齒菌

千八百四十九年  
三百七十八九葉

六枚一行

○ 一 有若ある盲人の小傳

千八百五十一年  
自百八十一至百八十四葉

十三枚  
百六十一行

○ 一 塩  
モントアランキ山よ登りよる紀行

千八百三十六年  
自百四十五至百四十八葉

十一枚半五行  
百三十一行

一 赤  
訪倫敦の貧蠻

千八百四十六年  
二百七十四葉

八枚半三行  
百七十三行

○ 一 津有  
孔子傳

千八百四十二年  
自百三十八九四十葉

七枚二行  
百四十三行

一 伊斯巴尼將バルド各エスバルテロ氏傳  
八月之部

一 川  
支那颶風

千八百五十年  
二百六十七葉

四枚九行  
八十九行

一 川  
アレキサンデルウイルソンの行狀

千八百五十年  
三百五十九葉

四枚半三行  
九十三行

九月之部

一川 乾濕鏡 千八百五十四  
百八十九葉

六枚八行  
百八十八行

一川 黒人の傳 トウツサイントル。オウヘル子ユレ 千八百四十年  
七十葉

八枚八行  
百八十八行

一 食料廣造記 千八百五十五年シカッタ、カメル  
二十五七葉

八枚半五行  
百七十八行

一 米劍堅史略

一 螢火の記 千八百四十二年  
五三葉

四枚八行  
百八十八行

一 エウスタキウス傳 附黒人白人論 千八百四十四年  
五十七八九七葉

九枚半三行  
百八十八行

一 南野羅斯及コウカシウシリ 鎮極終極 千八百五十二年  
五十三葉

十四枚六行  
百八十八行

一 大頭微鏡 千八百四十二年  
二百四十九葉

四枚半八行  
百八十八行

一 腹語 二万四千四百葉

三枚  
百八十八行

一 ランセテイド 八月の續完成

十三枚半七行  
百八十八行

一 アルシメデス傳 千八百三十八年  
三十三四葉

五枚半三行  
百八十八行



園入

一坪 彼得屋風土記

七月 三月分

六百三十八年  
早九葉ヨリ十六葉迄

二十八枚  
六百三十八年

十月之部

一川 隕星の奇説

六百五十年  
二百四十三葉

六枚六行  
六百五十年

一坪 加比西尼

六百五十年  
百六十二葉

九枚半七行  
六百五十年

一赤 満那樹

六百五十年  
二十五葉

三枚半二行  
六百五十年

一津 仙朗画ダウヒ子の七奇

六百四十二年  
七十一葉  
四葉

七枚半二行  
六百四十二年

一木宗 倫敦の鶏卵貿易

ランセテイド芽八巻  
二百四十五葉

四枚半七行  
六百四十二年

一塩 レクトイン府の大將傳

コレム三十四葉  
早一葉

四枚五行  
六百四十二年

十一月之部

一 箕  
我帝尼哥勞一世傳 乾

千八百四十九年ウシセイト

四十五枚一行

一 川  
茶の説

千八百五十六年  
三百四十二葉

七枚半四行

一 市  
極微水蟲インヒツリアの説

千八百四十年オシセイト卷一  
自二百五十五葉至六十六葉

二十四枚九行

一 川  
蒸氣砲

千八百三十六年  
四百十五葉

三枚半六行

一 坪  
サンフランシスコ

千八百五十四年  
二百五十一葉

四枚七行

一 坪  
上加里福尼

千八百五十五年  
二百四十一二三葉

六枚半六行

一 木軍  
商隊

千八百四十二年  
百三十一二葉

六枚半

一 赤  
塩の説

千八百三十五年  
百四十四葉

二枚半六行

一 木宗  
饑渴の究理

千八百五十年  
七十一二葉

五枚六行

一 塩  
工場より歸着せし事を記す

千八百五十年  
四十二三葉

八枚半八行

一 津  
當舖

千八百四十四年  
自百四九至五十七葉

十枚九行

一 黒  
公斯瑞依諾波兒記

千八百三十八年  
百三十三至六十六葉

十枚三行

十二月之部

市川

一 瑞士旅行の記

千八百四十三年  
二百四十三葉

十枚四行

字井

一 新墨西哥

千八百四十六年  
百七十二葉

八枚半一行

一 北亞墨利加合衆國

千八百四十六年  
二百八十九葉

六枚四行

水宗

一 往古武器の史及び其形状

千八百四十九年  
九十三葉

五枚半六行

一 暹羅に贈る佛蘭西使節

千八百四十四年 自百六十九  
至七十二葉

十枚二行

一 最後の報告 家信官吏

以テルニテ行狀

千八百五十九年  
自百一十二葉

二枚二行

一 川 教師及び學校の説

千八百四十七年  
自百七至七十葉

八枚八行

一 箕 我帝尼哥勞一世傳

千八百四十九年 オンセテイド

四十五枚三行

一 川 象

千八百四十七年  
第百一十二葉

十一枚六行

一 市 酒及び他の精液の釀造

千八百四十六年  
自第百五十八至百六十一葉

八枚半一行

一 黒 マホメット傳 イスラミスニス説

千八百三十八年  
自百五至百十一葉

二十五枚三行

木宗

一〇景表及び時儀

千八百四十一年  
自第六十一至六十四葉

十枚半六行

塩

一希臘王ヲト傳

千八百四十八年  
自第二十九至三十一葉

五枚四行

一メッテルニッチ行狀録

千八百五十九年  
ホームニウス  
百十二葉

四枚四行

申

正月之部

坪

一雙手之論

千八百三十七年  
二百九十三四葉

五枚三行

西

一 支那に於ての敗績

千八百五十九年  
山海新聞紙

六枚二行

二月之部

一 北利時第一世王レオポルト傳

千八百五十四年  
二百六十五六七葉

六枚半

一同 一 焚燒せざる家

千八百五十四年  
二百一十一葉

三枚半二行

一同 一 へーシ 泥炭を  
作る者の生ずる説

千八百五十四年  
三百八十三葉

三枚半二行

一 喘吐國フレイビェルク垂橋の記

千八百三十七年  
百三十七八七葉

七枚九行

一同 一 喘吐國スクラバク瀑布の記

千八百三十七年  
四十一二三葉

六枚半七行

赤  
一〇 林湮私小傳

千八百三十五年  
百六十七葉

五枚三行

同  
一〇 マルモットの冬眠

千八百三十五年  
九十三葉

五枚八行

同  
一〇 ガラーフライルとマルモット

千八百三十五年  
九葉

四枚一行

西  
一 球 北河の戦を論ず

千八百三十九年山海新聞紙  
四百八十七葉

五枚二行

同  
一 毒霧

同上

六十枚

同  
二 高船の報告

同上

木宗

一〇 第二世帝マキミリアン幼少の時危難を逢ふ事

千八百四十八年  
二百六十七葉

八枚半五行

塩

一 イ・イ・グラントヒルレ二回の夢

千八百四十九年  
自二十三至七葉

六枚八行

箕

一 大北勅達尼亞世子稱必林西威勤士名號由來

千八百四十七年  
二五十二葉

四枚二行

同

一 記流辰南ム・ハルペルツゾーン・トロムプ戦死

千名

七枚二行

川

一 クレシンの戦

千八百三十七年自第  
百三十一至六葉

十四枚五行

市

一千八百四十五年巴拿馬地峽の行記

千八百四十六年白  
第百三十三至八葉

二十枚八行

坪

孟貝の記

千八百四十二年  
百六十九至七十葉

五枚半四行

同

雪の説

千八百四十二年  
百七十一至二葉

四枚半七行

大嶋

俄羅斯のパウル一世帝テモールの事を記す

千八百三十八年  
二百一十一葉

七枚二行

杉純

マニエルカント傳

千八百四十一年  
二百零六至七葉

七枚六行

西

土耳其小史

千八百五十二年新聞紙  
九月二十四日

五十一枚

ラットマン帝國の史略

カルロヰツツの盟約(ガザリオン第ニ世)の時子至ル

マホモウド第ニ世

危勸奈亞顛覆

千八百二十六年セニセリシの殺戮

邦國との戦

アドリアンヲアルの盟約

マホモウド季世の難

マホモウド及び其政治の改革

アブヰルメゲードの即位

津

佛國の棄兒院

千八百四十九年(方今紀事)  
自第百六十四至七十一葉

十三枚半六行

禁有

有名ある盲人傳

千八百五十二年  
二百八十一二三葉

十二枚二行

塩

一 噠國王非得列第六世

千八百四十年  
三十一二三葉

三枚半四行

三月之部

赤澤

一〇 ストベルナルド山遊子の記

千八百三十五年  
第五葉

十一枚半六行

黒川

一 魯西亞野人

千八百三十八年  
第三十五六七葉

十枚半二行

閏三月之部

津田

一 英倫銀鋪

千八百四十九年方今記事  
自二百七十一至八十二葉

二十枚四行

黒川

一 墨斯科

千八百三十八年  
百四十五六七葉

同

一 彼得堡

千八百三十八年  
自第九至五十三葉



一期朝野

墨下

一英論

新日

自朝野人主...

...

...



...



